



# 東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

## 「速度指定」から「徐行信号機」へ安全にかかわる取扱いが明確に 異常時のより安全な取扱いを求め議論 申5号団体交渉を終える

新潟地本は11月10日、申5号・異常時における安全安定輸送の確立を求める申し入れの団体交渉を行いました。

新潟地本はこの間、2021年度に発生した羽越本線矢引・新矢引トンネル内における速度指定の取扱い「鶴岡駅において使用開始前のワンマンミラーを使用した事象」ワンマン運転の快速列車を異常時にワンマン運転で運行したことに対して、新潟支社と団体交渉を行ってまいりました。

団体交渉以降も、支社と現場の間で運転取り扱いの認識に乖離があることから、異常時における安全安定輸送の確立を求めて申し入れたものです。

### 矢引トンネルの速度規制は徐行信号機設置へ

羽越線の列車の窓ガラス破損対策として、矢引・新矢引トンネルで速度規制を行う場合は徐行信号機によるよう求め、今年度徐行信号機を設置しない判断は徐行信号機を設置する事で検討しているとの回答を受けました。

今冬期では徐行信号機

## 新潟地本 設備職場で 若い仲間が加入!



### 新たな仲間と 共にがんばろう!

冬期はある程度ガラス破損対策ができた中で徐行信号機は設置しない判断をしたが、雪が多く降った事もあり途中から急遽、速度規制を実施したため、今冬期では徐行信号機

については計画的に行う部分も含めて判断し、徐行信号機を設置することにしました。

速度指定から徐行信号機に戻ることの社員周知について質すと支社側は、徐行信号機、速度指定、指令通告によるものと様々

### ワンマン地上設備の変更は現場との情報共有を強化へ

ワンマン運転に必要な地上設備の新設・移設・撤去を含む変更は全ての関係箇所に通知するよう求め、運転設備は運転報などにより関係箇所へ示達しているとの回答を受けました。

その上で、ワンマンミラーは項目としては入らないが、設置するにあたり、基本的には情報としてできる限り連絡する様に努めているとしました。

ワンマンミラーが設置されているのに指導担当が知らないという事があったが、その様な事は無くしていくという事で良いか質すと支社側は、基本的には新設では角度調整もあるのですようになるの考えを示しました。

ワンマンミラーの視認性向上について支社側は、汚れは現場や企画課が清



方法があり、実施する事の周知は行いが、都度、変わる事についての説明は考えていないとしました。

掃などの対応を行い、角度については現場と連携した中で必要であれば調整しているとしました。

### 車両設備故障時のワンマン運転は可能性を否定せず

ワンマン運転に必要な機能が喪失した場合はツーマン運転とするよう求めましたが、ツーマン運転にするのか、車両を差し換えるのかは、状況に応じて対応するとの回答にとどまりました。

故障時に車掌スイッチを扱いながらワンマン運転は可能という考え方は変わらないのかを支社側に質すと、基本的には変わらないとしました。

その上で、始発、運転の途中など状況は様々あり、その時々で対応は変えていかなければならない

き調整するとした支社側に対して交渉団は、車両がE127系からE129系に置き換わり運転席の高さが変わったことや、亀田駅の下りの様に乗降が後方のため角度調整に関わらず見え難い箇所があることを指摘しました。

現場では言っても変わらないという意識になっているため待つているだけで声は上がってこないことから、会社として現場に見え難い箇所を確認するような取組みを求めました。

支社側は、意見が上がっていただければ調整はするのことで上げて頂きたいとする一方で、交渉内で言われた意見は担当を含めて話していきたいとしました。

め、状況を見て指令が判断するとしました。

マニユアルや対応フロアにより輸送指令・乗務員双方で確認できる体制を構築するよう求めました

が、条件が様々あるので難しく、指令判断で状況に応じて対応していくとの考えを示しました。

今回の取扱いは運転士本人から出来ないかと申告があれば行わないか質すと支社側は、ワンマンの取扱い含めて教育を受けているので、出来る部分はやってみよう事が前提だとする一方で、ケースバイケ

12月4日、万代市民会館において「新潟地方本部エルダー協議会結成総会」を開催しました。

委任状を含めて50名を超えるエルダー組合員の出席のもとで運動方針と役員体制を確立し、新潟地方本部エルダー協議会を結成しました。

渋谷結成準備委員長はいさづの中で、コロナ禍により顔を合わせて話をする機会が少なかった中で今日の結成を迎えたとして、「顔を合わせれば色々な話も出てくる。地本と連携しながら取り組む。まだ老け込むのは早い。やれることはある。協議会の結成を契機に、出来ることを一杯活動していこう」と呼びかけました。

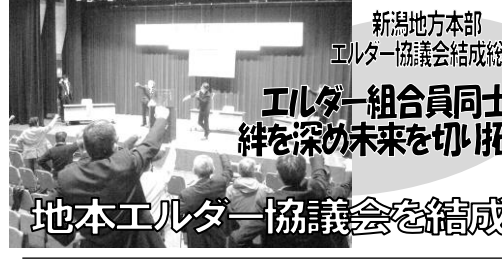
出席したエルダー組合員からは、エルダー出向先の実態や問題、課題克服のために実践してきたことなどについて発言を受けました。

準備委員会の近藤事務局長はまじめの中で、「労働組合の存在感を出して、安心して働ける環境をつくる」後輩に対して、先輩としてのアドバイスをお願いするとの声を送りました。

交流を通じてエルダー組合員間の絆をさらに深め、東日本ユニオン組織の強化・拡大と、労働環境の改善に向けて取り組みを創り出しましょう!

あることから、組合側から実態も紹介しながら議論を行いました。

今回の交渉を通じて、組合側の要求の実現や前進も見られました。



### 新潟地方本部 エルダー協議会結成総会 エルダー組合員同士の 絆を深め未来を切り拓こう 地本エルダー協議会を結成

安全に関わる認識については労使で共通するものがある中で、実際に取扱い現場側の意見と支社が打ち出している対策にズレが生じている部分も